

開催日時：2003 年 7 月 5 日（土） 13：30～16：55

場 所：京都リサーチパーク 地階 バズホール

参加者数：委員 15 名（1 名は部会長の要請により参加）、河川管理者 18 名、一般傍聴者 67 名

## 1 決定事項

- ・淀川部会の現地視察（木津川筋の魚道を中心とした視察）を 7 月 28 日に実施する。

## 2 審議の概要

委員会およびテーマ別部会の状況報告

資料 1「委員会および各部会（提言とりまとめ以降）」、資料 3「7 月～9 月の委員会、部会、運営会議の日程について」をもとに、これまでの開催状況、地域別部会の役割、意見書作成までの流れについて説明が行われた。

説明資料(第 2 稿)の検討について

資料 2-1「淀川部会検討会（2003.6.26 開催）の内容報告」をもとに前回の検討会（6/26）で議論された内容「水源保全のための森林」「流砂の遮断」「魚道」「堤防強化」について意見交換が行われた。また、「琵琶湖の浸水被害の軽減と天ヶ瀬ダム、瀬田川・宇治川改修、大戸川ダムの関係」についても意見交換が行われた。

### < 主な議論、意見 >

琵琶湖の水位・浸水被害の軽減と天ヶ瀬ダム、瀬田川・宇治川改修、大戸川ダムの関係

「琵琶湖の水位と内水被害との関係が不明確」「琵琶湖の水位にもっとも影響を与えるのは洗堰の操作。大戸川ダム、丹生ダムの効果はあまりにも低いのでは」「大戸川ダムと琵琶湖の水位、天ヶ瀬ダムの関係がわかりにくい」等の指摘があり、今後、河川管理者より具体的な数値を示して頂くこととなった。

砂防堰堤と流砂の遮断

ダムや堰堤による土砂供給の遮断について意見交換が行われた。整備内容シート（第 1 稿）に記載されている施策（ダンプで砂を下流に運ぶ等）の実行可能性、近畿での事例の有無等について、意見交換が行われた。

魚道

「魚道整備は優先順位をつけて行っていくべき」「まず整備できるところを今やっておくべき」「どの魚がのぼれるのか、ダム湖の上流への誘導等についても考えるべき」「渇水時でも魚が遡上しやすいように、斜め井堰を検討してほしい」等の意見が出された。

堤防強化

「現在、個々の箇所の堤防強化技術については別途委員会を設立して検討を行っている。

検討の経過については流域委員会に示したい」との説明が河川管理者からあった。

### < 河川管理者への依頼事項 >

- ・琵琶湖の水位・浸水被害と天ヶ瀬ダム、瀬田川・宇治川改修、大戸川ダムの関係についての定量的なデータによる説明

- ・塔の島地区の40年前と現在の航空写真の提供
- ・大戸川ダム事業と県道事業と関係に関する資料の提供
- ・琵琶湖の水位と周辺の内水被害の関係と1500m<sup>3</sup>/s放流の関係に関する説明
- ・水需要の精査・確認、新規需要計画、ダム等の水源施設の財産権と債権、利水事業者の財政事情の精査・確認に関する表の作成(資料2-2 P30~33)
- ・ダムの計画変更のプロセス(昔の計画との対比)

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者4名から「説明資料(第2稿)に舟運の航路確保が記載されることになったのは何故か、河川管理者に説明して欲しい」「流域の住民が安心して暮らせるよう、大戸川ダムを建設してほしい。また、ダム建設を契機に田上山の再生を目指して市民が一体となって進めている取り組みも計画に入れてほしい」「琵琶湖の環境改善のためには、洗堰の操作規則の変更が必要。塔の島地区で1500m<sup>3</sup>/s流量が確保できれば、規則の変更も可能では」「天ヶ瀬ダム再開発の工事中道路整備はトンネル式放流設備建設のためなのか。直ちに中止して頂きたい」などの発言があった。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。